



3年生、高校入試に挑む！

いよいよ受験シーズン到来です。1月28日（火）または29日（水）は県内私立高校の入試、2月5日（水）は県立高校推薦入学者選抜検査、3月4日（水）と5日（木）は県立高校一般入学者選抜学力検査です。

入試は、自分の夢を実現するための入口であり、その扉をあけるチャレンジは自分自身しかできません。3年生には、体調を整え、最後まで妥協せずしっかりと勉強し、試験や面接に臨んでほしいと思います。

さて、これまで学校では、校長、教頭、教務主任と3年生職員とで、面接の指導を行ってきました。しかし、学校職員以外の方の指導も有効であろうと考え、学校運営協議会委員に面接官を依頼しました。その結果、3名の学校運営協議会委員が面接官を引き受けてくださり、1月17日（金）に面接練習を行うことができました。生徒は、随分緊張していたようですが、学校運営協議会委員からは、態度面がよく、自分の考えを述べることもできていた、とお褒めの言葉をいただきました。

1・2年生も、普段から「元気のよいあいさつをする。」
「授業でしっかり自分の考えを述べる。」ことを意識してほしいと願います。

地域の方からもエール

本年度も1月17日（金）に、3年生が門川町商工会から、青森県から取り寄せた「落ちないリンゴ」をいただきました。受験を乗り切り、門川町の将来を担う人材として成長して欲しいという願いが込められたリンゴです。地域の皆さんからの応援を力に変えて、3年生が高校入試に臨もうとしています。

ふるさと門川を想う

1月18日（土）は、新春子どもの声を聞く会が開催されました。ご承知のとおり、子どもたちが、ふるさと門川のよさや将来の門川町を自分なりに描きながら、将来の夢を語るというような趣旨の発表会です。

本校の発表者と内容は、以下のとおりです。

○ 木村 ほんの花 さん（3年生）

- ・ 題名：海外研修を通して学んだこと

門川町海外派遣生として参加した、オーストラリアのホームステイ生活を紹介し、日本とオーストラリアの文化の違いや海外から見た門川町、コミュニケーションの必要性などを述べてくれました。

○ 平塚 まほ さん（2年生）

- ・ 題名：門川町をよりよくするために

1年生の頃から、門川町福祉まつりのボランティアを行ってきたことや生徒会のペットボトルキャップの回収などを紹介し、ボランティア活動の大切さを訴えました。また、「魚の町かどがわ」として、海をきれいに保つためにも、海岸の清掃などのボランティア活動が必要であることを述べました。

2人とも、郷土愛が育っていること、これからの自分の在り方をしっかり見つめていることを、頼もしく感じたところです。



【学校運営協議会委員による面接練習の様子】



【落ちないリンゴ贈呈式の様子】



【新春子どもの声を聞く会の様子】